

事業概要【フィールドワーク等活性化事業】

申請者	静岡県富士市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	43,295千円 (14,095千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・大学生等によるフィールドワークを呼び込むことにより、若い世代の人口確保だけでなく、地元への優れた人材の輩出や、まちづくりをはじめとする様々な課題の解決を目指す。 ・市内でのフィールドワーク創出により、外部から大学生等を呼びこみ、知の集積を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 市内でのフィールドワークや研究活動の実施に係る費用を補助するとともに、ゼミや学生からフィールドとして選ばれるための普及啓発事業を行う。また、大学生と地域企業等がビジネスプランを策定する取組を支援し、交流促進の機運醸成を図る。 【ソフト事業経費】 ○フィールドワーク普及啓発事業 ・モニターツアー実施、PR動画作成（委託料）7,354千円 ○フィールドワーク・研究活動推進事業 ・フィールドワーク支援（補助金）1,500千円 ・地域課題解決調査研究（委託料）4,100千円 ・フィールドワークセンター運営（需用費）90千円 ○学生によるビジネスプラン作成支援・機運醸成事業 ・ビジネスプラン作成支援（委託料）1,051千円						
地域の多様な 主体の参画	商工会議所・商工会が、産業界の意見集約により事業の改善等の提案を行うとともに、青年部メンバーが、「ふらりばサポーター」の一員となり共同で事業を実施する。 市内金融機関が、経営支援の知見を活かし、ビジネスプラン作成の支援やアドバイスの提供を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①若者人口（+60人） ②フィールドワークセンター利用人数（+350人） ③フィールドワーク実施件数（+50件） ④フィールドワークを継続したい割合（+20%） ⑤ビジネスプランに取り組む大学生の数（+24人）

事業概要【田子の浦港にぎわい創出事業】

申請者	静岡県富士市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	65,287千円 (16,387千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・田子の浦港のにぎわい拠点が集中するプロムナードエリアで、行政や港湾関係者、民間団体とともに、イベント等を開催することにより、交流機会の創出と自立的で持続可能なにぎわい拠点の形成を目指す。 ・プロムナードエリアと鉄道駅間でシャトルバスの運行やレンタサイクルスポットを設置することにより、プロムナードエリアへのアクセス向上と市内経済への波及を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 プロムナードエリアでイベント等を開催する民間団体等に対する補助や、エリアの活用推進のためイルミネーションを地元企業や民間団体等と協働で開催する。また、交通利便性向上のため、近隣鉄道駅からのシャトルバスの運行やレンタサイクルスポットを設置する。 【ソフト事業経費】 ○民間主体によるイベント創出 ・イベント等開催補助（補助金）2,400千円 ○田子の浦港プロムナードエリアの活用推進 ・エリア全体を彩るイルミネーション実施（委託料）9,000千円 ○観光拠点における交通連携ネットワークの創出 ・シャトルバスの運行、レンタサイクルスポットの設置（委託料）4,987千円						
地域の多様な 主体の参画	民間団体等が主体となったエリア周辺のイベント開催や店舗進出等を促すため、港湾管理者や商工会議所等と連携を進める。 学生や地元メディア、SNS等の情報発信者とともに効果的な広報啓発を行い、エリア全体の知名度の向上やにぎわいの創出を進める。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①プロムナードエリアのにぎわい創出事業（本事業）実施に伴う市内経済波及効果額（+258百万円） ②プロムナードエリアのイベント等の出店店舗数（+27店） ③プロムナードエリアの交流人口数（+90千人） ④シャトルバス・レンタサイクル等の利用者数（+5,100人）

事業概要【富士市版スタートアップ・エコシステム形成事業】

申請者	静岡県富士市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	69,647千円 (14,247千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	- イノベーションの創出を先導する富士市版スタートアップ・エコシステムを形成し、産学官金等の連携を推進して、企業の付加価値向上や競争力強化を図る。 - 若者の就労や外部人材・企業との共創を促進し、DX等のスキルを持った人材の育成と確保を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 市内外で富士市の産業や地域課題等を周知し、市内で活動するスタートアップの事業化・成長まで専門家のもと伴走支援するとともに、スタートアップと産官学金の支援者等が交流する場を設ける。また、こども向けにアントレプレナーシップ教育イベントを実施する。 【ソフト事業経費】 ○アントレプレナーシップ教育 ・小中学生向け起業イベント（委託料）0円（※R8年度から実施） ○コミュニティ形成支援 ・交流会の開催（委託料）200千円 ○アクセラレーションプログラムによる伴走支援 ・伴走支援事業費（委託料）12,305千円 ○市外スタートアップの呼び込み ・地域課題解決型ワークショップ（委託料）1,183千円 ・海外スタートアップ企業マッチング事業（委託料）559千円					＜富士市版スタートアップ・エコシステムの全体像＞	
地域の多様な 主体の参画	- 商工団体とともに市内で活動するスタートアップの事業化・成長を後押しし、市内企業の声を事業内容に盛り込む。 - 県内大学と連携して地域課題解決型のワークショップを行うとともに、イベント等への大学生の参画を促進する。 - 金融機関と連携してアントレプレナーシップ教育を実施し、子供を育てる立場の目線で市内小中学校から事業に対する意見収集を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を通じて増加した地域の新規雇用者数（+8人） ②富士市版スタートアップ・エコシステム参加者数（+45者） ③市内で活動するスタートアップ数（市外からの誘致、起業等による新規活動）（+21件） ④新たに起業・創業を目指す人や新たな価値創出に関心を持つ人の数（+270人）

事業概要【工場夜景を活用した観光プロモーション及び誘客事業】

申請者	静岡県富士市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	16,511千円 (8,324千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	- 市制施行60周年となる令和8年度に本市に全国工場夜景サミットの開催を誘致することで、本市の工場夜景をさらなる魅力ある観光コンテンツとして成熟させ、市内旅行消費額の増加を図る。 - 民間事業者等が主導する持続可能な事業スキームの構築を図るとともに、シビックプライドの醸成を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 令和8年度の市制施行60周年に合わせ、本市に全国工場夜景サミットを誘致し、戦略的に事業展開することで魅力ある観光コンテンツとして磨き上げ、定着を図る。 【ソフト事業経費】 ○工場夜景包括プロモーション事業 ・専用映像やウェブサイトの制作等（委託料）5,000千円 ○工場夜景見学・撮影ツアー事業 ・デジタルスタンプラリー（委託料）346千円 ・煙突ライトアップ（委託料）2,387千円 ・工場見学及び撮影ツアー（委託料）305千円 ○おもてなし人材育成事業 ・工場夜景ガイド養成講座（委託料）286千円						
地域の多様な 主体の参画	新たに「（仮称）富士市工場夜景推進会議」を設置し、工場や交通関連事業者、観光関連事業者、商工団体、行政等が協働する仕組みづくりを行う。 工場夜景をガイドできる人材を育成することを目的に、富士市観光ボランティアガイドの会の会員を対象に、工場夜景ガイド養成講座を実施する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①富士市における宿泊・飲食サービス業の売上額（+3,220百万円） ②工場夜景関連ツアーの催行回数（+30回） ③工場夜景事業への企業参画数（+6件） ④専用ウェブサイトの月平均閲覧数（+15,500回）

事業概要【人が集まり、地域が繋がる自転車活用事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県富士市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	83,917千円（16,739千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	自転車による富士山の風景を楽しみながら移動できる体制の構築、プロサイクリングチームと連携した当市の特色を生かした誘客を進めるとともに、市民に対して自転車活用を推進することで、市外からの来訪者と市民が交流し、地域における様々なイベントや体験活動を通じて、人が集まり、地域で繋がり、地域経済にも寄与するまちづくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 レンタサイクル事業の運営や安全で楽しめる観光ルートの設定、サイクルステーションを拠点としたサイクリストが集まる環境整備、サイクルツーリズムの推進など立ち寄り場所などの情報発信を行う。また、プロレースの開催、サイクルスポーツの体験など、様々なイベントを実施する。 【主な経費】 自転車活用による交通利便性の向上 ・レンタサイクル運営費 1,753千円 滞留型観光事業の創出 ・サイクルツーリズム推進事業費 5,749千円 ・サイクルステーション運営費用 2,237千円 サイクルスポーツを通じた認知度の向上 ・プロカテゴリーレースの開催負担金 5,000千円 ・観光資源活用サイクルイベントの開催 2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①レンタサイクル使用した観光施設訪問人数（+1,476人） ②経済波及効果（+140,000千円） ③サイクリスト立ち寄り拠点整備事業所数（+170件） ④RESAS滞在人口の県外人口数(レース開催月)（+3,500人）	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://fuji-cycling.com/ (効果検証) https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kyouiku/c0508/m2o1a000003fp8n.htm



事業概要【公共交通で、観光、生活、教育・研究を多面的に支え、充実させる地域活性化事業】

申請者	静岡県富士市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	371,134千円(78,016千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	地方経済の創生
目的・効果	大規模投資事業を展開する新富士駅・富士駅間において、自動運転技術を活用した新たな公共交通サービス（自動運転バス）の導入により、深刻なバス運転士不足に対応しつつ両駅連携強化を図り、富士山観光を目的としたインバウンド観光客、フィールドワークを本市で行う首都圏大学人材などの移動を効率化し、交流・関係人口創出を図る。加えて、バス路線廃止による交通空白が懸念される富士川西岸地域にて、次世代を担う若者等とともに在り方を検討しながら代替交通を運行し、同地域にある本市最大の観光誘客施設や良好な富士山眺望が可能な拠点と「新富士駅」・「富士駅」・「富士川駅」の公共交通ネットワークを強化することで、観光、生活、教育・研究等多方面から地方創生を推進する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ・新富士駅・富士駅間において、令和9年度のレベル4自動運転バスの社会実装を目指した実証運行を行う。 ・富士川西岸地域で鉄道駅から観光・生活拠点へ展開できるバス路線を実証運行し、令和10年1月からの実装(本格運行)における最適な運行内容・経路を検証する。 【ソフト事業経費】 自動運転バス、代替路線の実証運行を実施する。 ・実証運行（委託料）78,016千円						
地域の多様な 主体の参画	地域公共交通事業者やMaaS関連システム事業者、商社等が会員として、大学、シンクタンク、支援機関、観光団体、行政等がオブザーバーとして参画する「ふじMaaS推進協議会」を通じて、産官学で連携し、事業効果を最大限高めるとともに、効率的かつ効果的に事業を実施するよう努めていく。学生プラットフォームを有する地元FM放送局と共にイベントを開催し、利用者の増加等につなげるとともに、自治会や大学、市内小中学校と連携し、ワークショップへの参加や自動運転バス体験乗車を促し、利用者目線での意見を吸い上げ、地域交通の関心度向上に取り組む。					KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	★①富士市における宿泊・飲食サービス業の売上額(+3,220百万円) ②新富士・富士駅間の自動運転バス及び富士川周辺地域運行バス路線の乗降者(+4,700人) ③フィールドワーク実施人数(+350人) ④利用促進ワークショップ参加者数・発表会来場者数(230人)